



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.8

令和5年7月20日

文責：校長 福島

ひまわりプロジェクト



4月に3年生が種をまいたひまわりの花が元気いっぱい咲き誇っています。「私の・ぼくの花はこれです」ちゃんと自分のひまわりがあります。

私も校長室の窓からひまわりの花をぼーっと眺める時間が大好きです。

ひまわりの花は「人権の花」といわれることをご存知ですか。ひまわりの花言葉「あなただけを見つめる」「あなたは素晴らしい」が人権のイメージに合うので「人権の花」となったそうです。いずれにしても元気をもらえる花ですね。

せっかく3年生が理科の学習で大切に育てたので、理科だけで終わらせるのはもったいないと思い、私は3年生と一緒にひまわりの花を使って人権学習をすることにしました。

先週、一輪のひまわりの花を持って「子供の権利条約」について授業をしました。世界中の子供に、幸せに成長していく権利が保障されています。3年生には今、夏休みを使ってアメリカから帰国している友達があります。「Convention on the Rights of the Child」という世界中の約束なんだよ。」と説明すると「アメリカの学校でも学びました。」ということで、一気にグローバルな授業に発展しました。授業の終わりはこんな話で締めくくりました。

「今日は、ひまわりの縁で3年生の皆さんと校長先生の特別授業ができました。すべての子供の人権が守られ、みんながわくわくできる春日小にしていけるために、みなさんの力を貸してください。7月20日の全校朝会で、今日お勉強したことを発表してほしいのです。頼まれてくれますか。」「もちろんです。任せてください。」元気な返事が返ってきました。

ということで、今日の全校朝会で3年生からのメッセージを全校に伝えました。メッセージはホームページからも動画配信しますのでご覧になってください。詳細はメールで配信します。

盛りは過ぎましたが校長室横の花壇にはひまわりが咲いています。学校にお寄りの際はご自由に花を摘み取ってお持ち帰りください。種を取る花は十分あります。元気な花をご家庭に飾ってください。「みなさんが育てたひまわりが、きっとコミュニティ全体を温かくすることにつながると思います。」

「はい。」うれしそうな返事が返ってきました。「ひまわりプロジェクト」3年生の自尊感情を高め、人権意識の高いコミュニティをつくっていくプロジェクトです。

